

8 犬議第 8 1 号
令和 8 年 4 月 2 8 日

犬山市長 原 欣 伸 様
犬山市教育委員会 教育長 勝村 偉公朗 様

犬山市議会議長
大 沢 秀 教

令和 7 年度所管事務調査に係る申入れ

各常任委員会の所管事務調査報告を全員協議会において協議した結果、下記の事項について検討されるよう申し入れます。

記

1. 消防体制強化の在り方について

- (1) 団員不足の解消に向けて、地域からの選出等を検討すること。
- (2) 出動手当の見直しとともに各分団から活動資金についての様々な意見がみられるため、各分団とのコンセンサスをしっかりとること。
- (3) 消防資機材運搬に各分団個人の軽トラックを使用しているため、個人負担にならないよう検討すること。
- (4) 消防本部移転に関して、資金計画と実施計画を定期的に議会と共有すること。
- (5) 未曾有の災害や猛暑に対応する消防職員の人員を犬山市職員定数条例に近づけるよう努力すること。なお、総務省消防庁が定めた「消防力の整備指針」から算出された犬山市の基準は、159人である。

(犬山市消防職員の定数120人に対し、令和7年度の職員数112人)

2. 地域公共交通について

- (1) 利用者の少ない路線において、他の地域公共交通を検討すること。
- (2) 他の自治体の事例を参考に、停留所設置に係る費用について、民間からの資金的なサポートが受けられるような仕組みを検討すること。
- (3) 高齢者に限らず、多くの世代が使える地域公共交通を目指すこと。
- (4) 市内外の交流人口を促すために、新たな広域連携での地域公共交通を模索すること。

3. 小規模保育事業について

- (1) 低年齢児保育ニーズの増加を踏まえ、小規模保育事業の導入を前提とした具体的検討を進めること。
- (2) 民間事業者の参入促進に向け、制度設計や支援策の検討を行うこと。
- (3) 年度途中の受け入れ需要も見据えた柔軟な保育提供体制を構築すること。

4. 図書館の在り方について

- (1) 利用実態の変化を踏まえ、交流機能を含めた図書館の役割再整理を行うこと。
- (2) 電子図書館について、導入可否、費用対効果を含めた具体的検討を進めること。
- (3) 図書館の将来像について、市民参加型の検討（ワークショップ等）を早期に開始すること。
- (4) 公共施設全体の中で、図書館の位置づけを明確化し、スピード感を持って方向性を示すこと。

5. 中学校部活動の地域移行について

- (1) 令和8年度中の本格移行を見据え、支援制度の方向性とスケジュールを早期に明確化すること。
- (2) 特に吹奏楽については、個別の対応策を含めた重点的検討を行うこと。
- (3) 初期段階の立ち上げ支援など、段階的な財政支援の仕組みを検討すること。
- (4) 保護者負担の軽減策（移動・費用）について、具体的な対応を検討すること。
- (5) 子どもたちの活動機会を維持する観点から、地域と連携した持続可能な仕組みを構築すること。

6. 観光客の滞在時間延長（宿泊客の増）について

- (1) 国宝犬山城、犬山焼、忍冬酒、げんこつ飴など、歴史と食の両面で豊富な素材がある。市民や地元企業と連携し、これらを体験プログラム化することで滞在型観光コンテンツへと繋げること。
- (2) 木曾川河畔を中心に、グリーンスローモビリティや電動スポーツバイクなど他の手段を検討し、回遊性の確保を図ること。

7. 農地の利活用について

- (1) 農業だけでなく観光などの地域資源と融合した「農業×観光」体験型イベントを実施することで、農業交流人口を創出し、将来の担い手育成へと繋げること。
- (2) ドローンやAIなどのスマート農業技術は、省力化や品質向上に大きく寄与しており、担い手不足対策としても有効である。市として導入支援を重点化するとともに、先進農家をモデルとして活用し、技術共有や研修の場を整備すること。